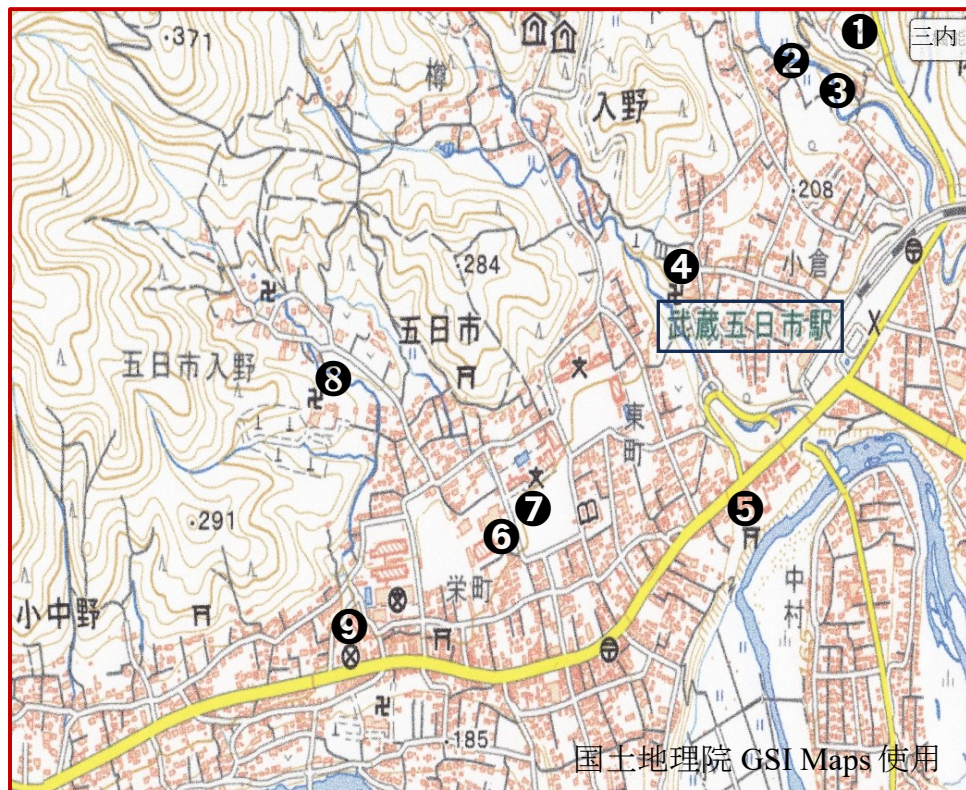


## ～ ご参加の皆様へ お願い ～

- ・集合から解散まで統一行動となっています。歩行中は1列または2列で歩き、道路横断時などは交通安全に十分に気を付けてください。
- ・急坂、石段などがありますので、足元にご注意ください。
- ・果樹や野菜、植物などを採取しないでください。
- ・地元の方々のご協力をいただき、神社・寺院などに伺いますので、失礼のないようにお願いします。
- ・活動中の飲酒はご遠慮ください。ゴミは各自お持ち帰りください。
- ・記録写真を撮る場合はご了承ください。
- ・新型コロナ対策にもご協力をお願いします。



私たち市民解説員は、ふるさとあきる野を愛し、地域の自然・歴史・文化の再発見に努めるとともに、これらを市民の皆さまに紹介し、まちづくりと生涯学習の推進を図る学習ボランティアです。

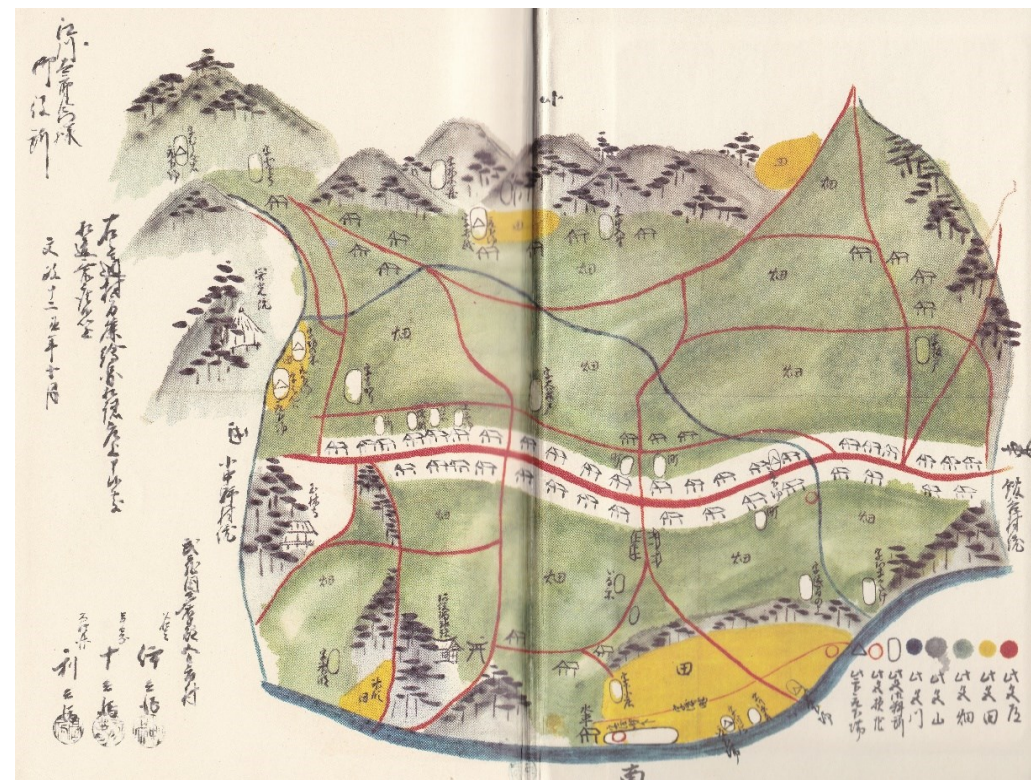
あきる野市は、自然や遺跡、文化財の宝庫です。美しく恵まれた環境のもとで、地域の皆さまと一緒に学びあい、活動できることをうれしく思っています。今後とも よろしく願いいたします。

《 担当解説員：G班 》加藤正昭・住友恒正・在原久雄・浅見孝男・高橋清樹

## 市民解説員が案内する市内探訪

# 晩秋のまいまい坂から金比羅山のふもとへ

## ～ 五日市憲法草案ゆかりの地 ～



「五日市町史 見返し」より ※文政12年

## 【コース】

武蔵五日市駅 → ①小机家住宅 → ②まいまい坂 → ③御岳火山灰露頭  
→ ④徳蔵寺 → ⑤勸能学校(舎) → ⑥五日市出張所・萩原タケ胸像  
→ ⑦憲法草案の碑 → ⑧開光院 → ⑨五日市郷土館(解散)

令和5年10月26日(木)

あきる野市 中央公民館



## ① 小机家住宅

山林業を営んでいた小机家が、明治8(1875)年頃に建てた五日市周辺最古の和洋折衷様式の住宅。外観は土蔵造りで列柱廊を持つバルコニーが付いて洋風。玄関には、兎の浮彫を採り入れた鰻(こて)絵がある。  
屋根のトタンは、建築当時の舶来の波板になっている。  
・都指定有形文化財：建造物

## ② まいまい坂／慶応の打ちこわし

武州世直し一揆／慶応2(1866)年6月16日まいまい坂での衝突  
上名栗村(現・飯能市)6/13で発生した内の一隊⇨青梅⇨梅ヶ谷峠⇨羽生⇨小机⇨一揆側＝約2,000人・別動隊20、30人 ※鉈、鋸、鍬、カケヤ、六尺棒  
⇨防御側＝約1,000人 ※農兵(11)・鉄砲(51)・竹槍(883)※町史による。  
※小机では一揆側2名の死者と21名の生捕人を残し逃げ去る。

## ③ 御岳火山灰露頭：御岳第1テフラ (On-Pm1)

三内川左岸の崖崩れ現場に、約10万年前の木曽の御岳山の噴火で降灰してできた灰褐色の火山灰土がある。  
※戸倉しろやまテラス(旧・戸倉小学校)には、この“剥ぎ取り標本”があり実物の地層のほか、顕微鏡で火山ガラスの粒などを見ることができる。

## ④ 福祐山 徳蔵寺 宗派：臨済宗 建長寺派

本尊：地藏菩薩立像(木彫り金塗り)  
創建：文明13(1481)年 開山：柏芳樹和尚禪師  
※昭和4年3月火災、17年に本堂を再建、47年に庫裡を新築。  
※北側の台地に明治後期～大正前期、明治小学校(入野・深沢・館谷)が開設。

## ⑤ 勸能学校(舎)跡 ※現在の五日市小学校の前身。第二代校長が千葉卓三郎。

勸能学校は、明治5(1872)年の学制発布に伴い五日市村につくられ、明治6年に勸能学舎の名称で発足。明治8年に勸能学校に改称。明治10年代には各地から自由民権家が多く集まり、その活動拠点の一つだった。

### 【五日市憲法草案】

表題は「日本帝国憲法」、起草者は仙台藩士で現・宮城県栗原市生れの千葉卓三郎。明治14(1881)年の起草と考えられる。

昭和43(1968)年、当市の深沢にある深澤家の土蔵から東京経済大学・色川大吉教授のゼミによる地域の歴史調査によって発見された。

明治10年代、自由民権運動の盛んな時期に各地で作られた私擬憲法草案の一つ。各草案の中でも権利・自由の規定や法の下の平等の規定などの点が高く評価される。  
この草案は都の有形文化財、深澤家屋敷跡は都の史跡に指定されている。

## ⑥ 市役所五日市出張所内・ミエゾウの複製展示

ミエゾウの学名：ステゴドン・ミエンシス  
昭和53(1978)年、当市の網代のゴミ処分場建設現場でほぼ一頭分の化石が発見された。全長8m、高さ3.5mもある約300万年前にいた国内最大級の古代ゾウの化石(複製)の一部が展示されている。

## 萩原タケ胸像 ※出張所敷地内 建立：昭和60(1985)年11月3日

経歴：明治6(1873)年 五日市68番地に出生 ※昭和11(1936)年63歳没  
明治11年 勸能学校入学、3年間通学(優等賞受賞)  
明治26年 日本赤十字看護婦生徒として入学～明治29年卒業  
明治35年 看護婦長として北清事変の功により従軍記章授与  
明治42年 梨本宮御夫妻の欧州旅行随行、看護婦国際会議に出席  
大正9年 第1回フローレンス・ナイチンゲール記章受章

## ⑦ 五日市憲法草案の碑 ※五日市中学校敷地内

建立：昭和54(1979)年11月3日 五日市憲法草案顕彰碑建設委員会  
経緯：「五日市学芸講談会の同士並びに卓三郎ら明治の先覚者の功績を永く広めるため町民各位の協力により本碑を建立」  
正碑：「五日市憲法草案」から抜粋された6つの条文  
副碑：表面「建碑ノ辞」 裏面「五日市学芸講談会員ノ名簿」

## ⑧ 幽遠山 開光院 宗派：臨済宗 建長寺派

本尊：文殊菩薩 脇士に不動明王、毘沙門天 じゅがくさん  
創建：文安5(1448)年 開山：広徳寺二世の夷弟・咒嶽珊禪師  
開基：刀鍛冶・入野宗真 朱印：徳川幕府より寺領16石を授かる。  
市指定文化財：本堂、庫裡

## ⑨ 五日市郷土館 ※五日市920番地1 昭和56(1981)年11月5日開館

- ・1階展示室：山・里・川のくらし、祭、化石などのコーナー  
※海獣「パレオパラドキシア」の化石(上顎骨)の展示
- ・2階展示室：五日市憲法草案関係資料(パンフレット参照)、萩原タケ、黒八丈、当市にゆかりの人々の紹介などの展示

## 旧市倉家住宅 ※郷土館敷地内

- ・金比羅山麓の北寒寺地区に江戸時代末期からあった養蚕農家。
- ・平成10年に市指定有形文化財、翌年に寄贈され12年に復元。  
構造：入母屋造りの茅葺、変形四間型  
特徴：上屋根が上屋柱筋から出ている出桁造りの特殊構造